

香川大学武道祭

代表者 加藤 和俊 (地域マネジメント研究科1年)

1. 目的と概要

あらゆる分野でグローバル化が進む昨今、日本の武道の素晴らしさを学生、一般市民に伝えるために開催した。

空手道部、少林寺拳法部が参加し、大学祭のステージ上で演武を披露した。

2. 実施スケジュール

平成19年 11月3日

香川大学 大学祭ステージ



開会のあいさつ

3. 成果の内容及びその分析・評価等

空手道部、少林寺拳法部の創意工夫を生かした演武により、武道を修行している学生の存在をアピールできた。

合気道部、柔道部、剣道部などの参加も得られれば、より内容の深いものになったと思う。



少林寺拳法部の演武

4. この事業が本学や地域社会等に与えた影響

観客は意外と年配の一般市民が多かったのも、学生よりも一般市民の方が武道に対して、興味を持っていたようである。武道を修行している香川大学生の存在をアピールできたのではないかと。

5. 自分たちの学生生活に与えた影響や効果等

新入部員の獲得にはつながらなかったが、人前で演武することにより、引っ込み思案な学生の意識が向上したように思う。



空手道部女子による演武

6. 反省点・今後の抱負（計画）・感想等

第2回は未定。もし行うのであれば、学生主体による方法が望ましい。合気道部、柔道部、剣道部の参加があれば、厚みも出るだろう。

7. 実施メンバー

代表者	加藤和俊（地域マネジメント研究科1年生）	
構成員	西村和高（法学部3年）	花木 満（経済学部3年）
	四宮諒子（法学部3年）	山畑 梓（教育学部3年）
	折田宏平（教育学部2年）	小柳稔法（農学部2年）
	古山佳彦（農学部2年）	松本行広（経済学部1年）



空手道部の演武（型・制引戦）